

出版ダイジェスト

社団法人 出版協会 出版ダイジェスト社
http://digest-pub.net
毎月3回(1日・11日・21日)発行 購読料1カ年=送料共1,575円(税込)
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-28-13 ラフィネお茶の水805 電話03-3292-2323 FAX03-3292-2325

農文協特集 | T活用で 農業指導が変わる

臨時増刊



農家の安全安心への知恵「柿酢」。作物にも人にも効く。

BSE騒動に続き、食品の不当表示や「無登録農薬」の摘発など、「食の安全」をめぐる事件に揺れた一年が終わり、新しい年を迎える。「無登録農薬」問題は、その後、農薬取締法の改正へと進み、産地も農薬安全使用基準の遵守や農薬の「記録運動」(トレーサビリティ)の取組みに大きく動きだしている。どんな農薬をいつ散布したかを記録し、使用基準に違反していないかを点検し、流通関係者や消費者に「安全」を証明する。

農薬の規制強化で、農村が貧困になる？

「安全」のための一定の規制は必要である。しかし、それが、農家の生産と暮らしの知恵や工夫をおしこめるようなものであってはならない。

そういえば、グリーンツーリズムで来たお客に自家醸造のドブロクをふるまうことを認めよ、と岩手県が提案した「どぶろく特区」に対し、これを拒否した財務省のいい分も「安全」であった(一月号五六ページ)。「製品の品質が保健衛生上問題のない一定の水準を維持するためには相応の設備」が必要で、「これらの費用を賄えるか否かは酒税の保全の観点から重要」という。家にある道具でつくるのは「安全」に疑問があり、税金を払えるぐらいの経済力がないとどうでないと「安全」なものではないというわけだ。世界広しといえども、自家醸造を禁止して

るのは日本ぐらいのものである。諸外国では、農家や庶民が「危険」な酒を飲んでいてどうもいふのだからか。自家菜園や身近な資材を活用した防除の工夫まで規制対象にしようとする今回の農薬の規制強化(一月号三三八ページ参照)も、そんな恐れをほらんでいる。

「安全」競争より、「食」の楽しさを届けよう

「現代農業」二〇〇三年二月号「主張」より

「安全」と「安心」はちがうほうがいい
「食の安全」といっても、大規模市場流通のもの、農家と消費者、農と食が乖離した状況のなかで、モノ(商品)の安全性だけが、それも過剰に問題視されているにすぎない。「危険」か「安全」かだけを性急に判断しようとする雰囲気がこの国を覆い、それがもたらす「風評被害」を防ぐために、産地側は余儀なく、先んじて「安全」を証明しようとする。

一方、「安全」論議の高まりのなかで、「無農薬」とか「有機」とかも「安全」証明のレッテルのようになっている。しかし、日本の有機農業は、隔たつてしまった農家と消費者を「産直」で結び、農家が消費者に働きかける運動として始まったものである。今から三三年前に設立された日本有機農業研究会の「結成趣意書」は、次のようにその使命を謳っている。

「食生活での習慣は近年著しく変化し、加工食品の消費が増えているが、食物と健康との関係や食品の選択についての一般消費者の知識と能力は、きわめて不十分にしか啓蒙されていぬ。農業者が消費者にその覚醒を呼びかけることが何よりも必要である。」

「おいしさ」は「安全」を超える
さて、今月号は「品種特集号」である。そして、農家が消費者に働きかけようとして、「品種」には大きな可能性が秘められている。従来の大規模市場流通と、産地消費では品種選択も、アピールのしかたもずいぶんちがう。

元農協の生活指導員の佐々木寿美子さんは、五年前、産直を始めた(本誌五六頁)。自分でつくる野菜や果樹だけに、規格にあわない「まともな量が揃わない」などの理由で農協

履歴を記載しようとするというが、記帳を苦手に思う高齢者も多い。記帳がないから、「安全」でないなど決めつけられてはたまらない。おいしいと農家がこだわってつくっている特徴のある品種の極上品を直接仕入れるので大変好評だ。売り上げは年々伸び、いまでは合わせて年間八〇万円。

たとは、一月の蜂屋柿の干し柿。普通は高級感を出すために一個ずつパックされるが、お客さんの要望に応じて、連のまま入れる。お客さんは「懐かし」といって台所に吊るし、自分ではずしながら食べるのが楽しい。

佐々木さんの取引の基準は「ベロメータ」だ。本当においしいものなら噛み分けられる自信がある。農業問題が騒がれても、お客から「農業はどうしてますか?」という質問はまったくなく、「どうです。おいしいでしょ」という迫力が、安全性など気にならないうほど信頼をもちあわしている。トレーサビリティも当面の課題にしていけない。とにかく、「味」で勝負なのだ。

「個性」が「安全」を乗り越える
品種を生かして「食」の楽しさを伝える。「地産地消」の中で、そんな取り組みが盛んになってきた。

栃木県の「吉野フルーツ農園」は、甘味系、酸味系など三〇種以上のリンゴの品種が植わっているが、その中には軸に割れが入る品種がある。切ったときに不良品のように見えるので、売り始めた当初はクレームで電話がなりっぱなし。しかし、割れが入ったほうがおいしいと説明すると納得し、しばらくして「また送って」と注文が入るようになった(八二頁)。

富山県の荒川睦子さんが直売所にあす「仙台長ナス」の早採り果は、「皮がやわらかいのに、食べるとシャキッとした感じ」。「切らずに皿に盛れるから見栄えがいい」「漬かるのが早い」など、驚くほどの人気である。千両ナスや水ナスでも若採りできるが、漬けるなら仙台長ナスが一番だと伝えてあげる(七八頁)。

品種を食べ方と一緒にアピールする。食べ方や調理の工夫で品種のもつ特徴を引き出すことにより、品種は個性的なものになっていく。「個性」はモノに付着した性質ではなく、人とモノとのかわりから生まれる。品種を育てる農家の思いや苦労、それを生かす食べ方など、情報も含めそこに人がかわりが見えるほど、品種は個性的になっていく。

そして今、「個性」が売れる。時代である。「安全」はモノに付着した普遍的(客観的)性質のように見えるが、消費者が求めている「安全」は、「信頼」から生まれる安心感のことなのである。そして個性的であるほど安心感が高まる。

「食」は、自然と人間のかかわりから生まれる真摯な「営み」のはずであり、その根源は農家の自給にある。トレーサビリティに膨大なエネルギーをかけるより、自給を多様に進めながら直売所、産直、加工、グリーンツーリズム、食農教育の輪を、いっそう広げること力を注ぐことのほうが、よほど肝心である。(農文協論説委員会)

JA高知市の挑戦

農協の営農指導・購買事業はもろろんのこと、共済事業にも「農業技術大系」の各編、『病害虫診断防除編』『病害虫防除・資材編』、それに『CD-ROM版 農業技術大系』『CD-ROM版 病害虫・雑草の診断と防除』が役立っていると聞いて、思わずその農協に電話していた。

その農協とは、商系が強い地域で営農指導体制充実に取り組んできたJA高知市(次面囲み記事参照)である。

に変えた!

「(こ)本所)もそうですが、市街化が進んだ地域が多いですから、まあいろんな人が来られます。もちろん組合員以外も。そんなとき、ちよと営農指導員がいればいいんですが、現場回りが多いですから、現場のたぶんないです。でも、パソコンをちよと扱っている人がいたら、病害虫・雑草の診断と防除のCD-ROMが、お客さんと一緒に原因をさがしていただけます。ね、支所とお客さんが仲良くなるんですよ。またあと設置を積極的に働きかけてくれた方だ。案内してくれて、相談に応じるための書物がびっしり並んでいる。隣は分析室。」

「(こ)本所)もそうですが、市街化が進んだ地域が多いですから、まあいろんな人が来られます。もちろん組合員以外も。そんなとき、ちよと営農指導員がいればいいんですが、現場回りが多いですから、現場のたぶんないです。でも、パソコンをちよと扱っている人がいたら、病害虫・雑草の診断と防除のCD-ROMが、お客さんと一緒に原因をさがしていただけます。ね、支所とお客さんが仲良くなるんですよ。またあと設置を積極的に働きかけてくれた方だ。案内してくれて、相談に応じるための書物がびっしり並んでいる。隣は分析室。」

非農家もたくさん 相談にやってくる!

購買や金融の職員もちよとした問い合わせには応えられることができるシステムに変わってきたことに満足した。使用の指導をしたんですが、なかには、指導員よりも使い方に詳しい女性も増えてきたんですよ(笑)。

中岡さんも驚くその女性、この春まで高知駅周辺の市街化と真ん中の支所の購買担当だったOさんである。

「(こ)本所)もそうですが、市街化が進んだ地域が多いですから、まあいろんな人が来られます。もちろん組合員以外も。そんなとき、ちよと営農指導員がいればいいんですが、現場回りが多いですから、現場のたぶんないです。でも、パソコンをちよと扱っている人がいたら、病害虫・雑草の診断と防除のCD-ROMが、お客さんと一緒に原因をさがしていただけます。ね、支所とお客さんが仲良くなるんですよ。またあと設置を積極的に働きかけてくれた方だ。案内してくれて、相談に応じるための書物がびっしり並んでいる。隣は分析室。」



JA高知市の中岡栄一さん(手前)と矢間秀樹さん



相談窓口で大変便利な「絵目次」からの病害虫診断

白さび病の症状の写真的な一枚(写真の下に詳細説明がある)

「白さび病」のえらい。病気が出ているのは土に埋めないかんよ(こ)本所)もそうですが、市街化が進んだ地域が多いですから、まあいろんな人が来られます。もちろん組合員以外も。そんなとき、ちよと営農指導員がいればいいんですが、現場回りが多いですから、現場のたぶんないです。でも、パソコンをちよと扱っている人がいたら、病害虫・雑草の診断と防除のCD-ROMが、お客さんと一緒に原因をさがしていただけます。ね、支所とお客さんが仲良くなるんですよ。またあと設置を積極的に働きかけてくれた方だ。案内してくれて、相談に応じるための書物がびっしり並んでいる。隣は分析室。」

お客と一緒に 病名発見!

「ちよとOさん、これな(目次の上の方にある)診断をクリック。切り替わった画面の「病気・害虫」をクリックして、「葉」をクリックして...」

「(こ)本所)もそうですが、市街化が進んだ地域が多いですから、まあいろんな人が来られます。もちろん組合員以外も。そんなとき、ちよと営農指導員がいればいいんですが、現場回りが多いですから、現場のたぶんないです。でも、パソコンをちよと扱っている人がいたら、病害虫・雑草の診断と防除のCD-ROMが、お客さんと一緒に原因をさがしていただけます。ね、支所とお客さんが仲良くなるんですよ。またあと設置を積極的に働きかけてくれた方だ。案内してくれて、相談に応じるための書物がびっしり並んでいる。隣は分析室。」

依頼日	年	月	日	受付時刻
依頼者氏名	電話番号			
住所				
作物名	品種名	採集場所	定植日	使用薬剤
管理状況等	栽培履歴			
症状等				
採集時刻				
採集場所				

「(こ)本所)もそうですが、市街化が進んだ地域が多いですから、まあいろんな人が来られます。もちろん組合員以外も。そんなとき、ちよと営農指導員がいればいいんですが、現場回りが多いですから、現場のたぶんないです。でも、パソコンをちよと扱っている人がいたら、病害虫・雑草の診断と防除のCD-ROMが、お客さんと一緒に原因をさがしていただけます。ね、支所とお客さんが仲良くなるんですよ。またあと設置を積極的に働きかけてくれた方だ。案内してくれて、相談に応じるための書物がびっしり並んでいる。隣は分析室。」

増刊 年4回・年間購読料 3600円 (前払いで送料サービス)

定価900円(¥120円) 自然から人間へ、農村から都市への呼びかけ 農的暮らしによるライフスタイル革命を全国から伝える。

シリーズ既刊 各900円

2002年8月増刊 **青年帰農** 若者たちの新しい生きかた

2002年11月増刊 **スローフードな日本!** 地域の自然の力が支える食の健全さ。食から見えてきた「スロー」な生き方。結婚登生 雄 島村菜津他

バックナンバー

2003年1月号 **ドブロク復権** 生活文化で客を呼ぶ岩手県「ドブロク特区」宣言/世界の自家醸造事情/手づくりの秘伝公開

2002年12月号 **「無登録農薬」問題** 問題の背景と使用の今後を巡る 基礎知識/農薬は食の安全を脅かしているか/「食の安全性」への視点他

現代農業

月刊 年間購読料9600円 (前払いで送料サービス)

定価800円(¥120円) 地域づくりの総合実用誌。有機栽培、産直・直売、食品加工、民間療法、食農教育など農村からの発信

11月号 「秋の野山」の幸が売れる

10月号 土肥特集・苦土がスゴイ

9月号 手作り果実酒で健康、酢防除

8月号 塩で増収・高品質

7月号 国産麦の魅力、いよいよ

6月号 防除特集・酢が効く、味もの

5月号 青森産「産地」は変わる

4月号 竹林の7つの宝

「無登録農薬」問題

ドブロク復権

スローフードな日本!

ITが都市型農協をわが町の農協

地域の防除ブックを作成 功を奏した黄化えそ病退治作戦

「あつときは本当に助かりました。」
中岡さんは「メロン・キュウリ黄化えそ病について、黄化えそ病に関する対応マニュアル(写真)と書かれた冊子を持ち出してきて、「なかなかおかし……」と、農家がキュウリとメロンの葉っぱを持ってきたんです。葉っぱの葉脈が透き通ったみたいになっていて、中にはボチボチとモザイクが現れているものがありました。平成一〇年に高知県に入ったといわれていたミニキウロアザミウマが媒介するウイルス病の黄化えそ病じゃないか？」

中岡さんは、高知県農業技術センターで「黄化えそ病」であることを確認すると、すぐに普及センターと郊外のキュウリとメロンの団地をくまなく回った。治療はない。発生していた株をすぐに除去。そして、

「ハウス団地の農家は病害虫の情報が入るのですが、中にはなんにも伝わらない」
「菜園愛好家にも協力してもらわないと地域の病害虫は防げない」
市民農園や家庭菜園の人たちにはなんにも伝わらない

「JA高知市、普及センターが一体となった素早い対応が功を奏して、防虫ネットや紫外線カットフィルム、マルチ、青色粘着リボムなどの導入も進み、それ以上黄化えそ病の被害が拡大することはなかった。しかし、この経験は、市街化農協にとっても重要なことを教えてくれた。」



ポスターも作られ、公共施設各所に貼られた。



この本は、JA高知市が中心となり、市民農園や家庭菜園の人たちから寄せられた情報を基に作成された。黄化えそ病の緊急対策パンフレットや印刷する場には必ず出版元であるJA高知市と連絡を取り、著作権や肖像権などの権利を事前に確認し、制作費を別途支払う必要がある。

市民のための農協だから バージョンアップ代は市も援助

本所支所あわせて、JA高知市には一六セットのCD-ROM版、病害虫・雑草の診断と防除が利用できる。日頃の積み重ねが、高知市民の農協として認められたのだらう。

「環境保全型農業」の技術予算五〇万円のうち半額を農協に出してもらい、試験圃やCDのパージョンアップ代金は年に一六万円。最近、農協に組合員が帰ってきた。JA高知市が、出資が増えるにつれて郊外ばかりに目がいくようになったんです。生産団地をねらうほうが効率がいいですからね。その代わり、これまで業者に情報を提供してもらっていた市街地の農家が困ってしま

「JA高知市は昭和六十四(一九八九)年、県都高知市と土佐山村、鏡村の一市二村の四単協が合併してできた。組合員数約一七四〇〇〇。一七ある支所には、大系、の、土壌施肥編、野菜編、果樹編、作物(金融特化支所を除く)。本所には八名の営農指導員が配置され、支所に対応できなかった質問にも答えることができるようになった。市街化されて農地は減り、出作で栽培されている果樹の病気と害虫、家庭菜園、草花の病気と害虫、JA高知市連のホームページによる、JA高知市「都市型」農協と位置づ

市街化の中の農協

JA高知市



本所相談室の書棚には使い込まれた『診断編』『防除資材編』『花卉病害虫診断防除編』のほか「農業技術大系」各編がズラリ並んでいる

農文協

定期購読受付中

【18号】校区探検の技術

【19号】「総合」で教師が変わる

【20号】パソコンで深める体験学習

【21号】「食べる」の向こうに見えるもの

【22号】「売る」から何を学べるか

【23号】食で深まる国際理解

【24号】本場の人と作る地産野菜カレールー/A.L.T(言語補助教員)との郷土食交流で地域学習を国際理解につなげる

地産地消 の地域づくり

【14号】直接支払制度をどう活かすか

【15号】「地産地消」を推進する

【16号】自治体の支援ですめる都市と農村の交流

【17号】農を基本とした農工商連携の地域づくり

【18号】高齢農業者の「生涯現役」を支援する

【19号】高知市農業を元気づけるために

【20号】2002年11月号「高齢化が進む集落 活性化への提言」地域再生への取り組み・先行事例集/農業の多面的機能を推進する活動/本誌14号で紹介の先行事例・継続追

農村文化運動

【166号】「農村」の立場から、自然と人間の対立関係の克服と新しい地域社会形成の道を探る、農業者・研究者の交流誌、編集・発行、農文協/季刊、A5判、400円、年間16000円

【167号】「非文字文化の再興」をキーワードに

【2002年10月号】「掛川哲学塾」第5回夏のセミナーから/哲学者・内山節、国立民族学博物館教授・高橋敏、掛川市長・櫻村純一、新潟大学教授・大熊孝、東京農工大教授・鬼頭秀一

【165号】「JA」IT研究会、第二回・第三回研究会の記録

【164号】食農教育で農都両棲の地域づくり

【163号】「JA」IT研究会、第一回研究会の記録

【162号】「総合的な学習の時間」の理論と思想

食農教育

「総合的な学習の時間」の総合、地域と連携した深い学習を実践から追究。編集・発行、農文協/隔月刊、A5判、800円、年間48000円

【23号】食で深まる国際理解

【24号】本場の人と作る地産野菜カレールー/A.L.T(言語補助教員)との郷土食交流で地域学習を国際理解につなげる

【22号】「売る」から何を学べるか

【21号】「食べる」の向こうに見えるもの

【20号】パソコンで深める体験学習

【19号】「総合」で教師が変わる

【18号】校区探検の技術

岐阜市エダマメ産地から 病害虫防除で「環境保全型農業」を確立

難防除害虫ハスモンヨトウを 手づくりフェロモントラップで防除

岐阜市は日本有数のエダマメ産地だが、害虫の害が甚しく、食害する若葉は食害の被害に悩まされてきた。この被害を減らすため、岐阜市エダマメ産地から「環境保全型農業」を確立し、難防除害虫ハスモンヨトウを「手づくりフェロモントラップ」で防除している。

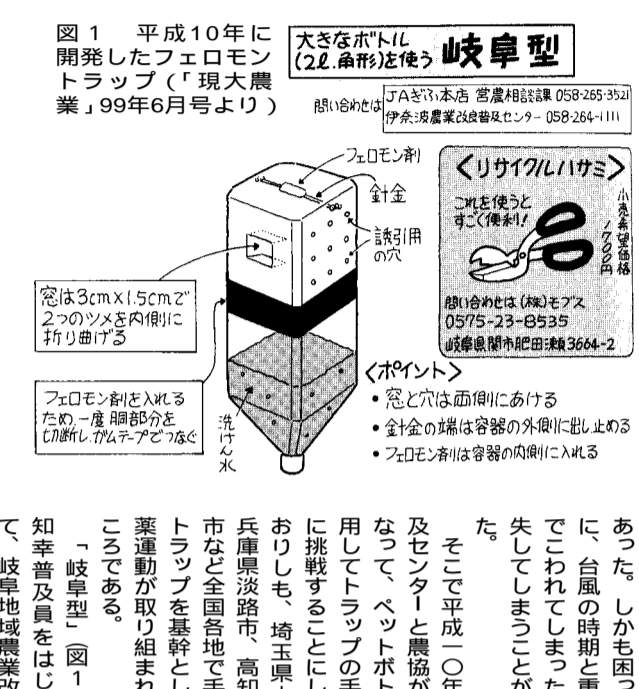


図1 平成10年に開発したフェロモントラップ(「現大農業」99年6月号より)

「診断編」ですぐさま害虫名を特定

「診断編」は、害虫の発生している正体不明の「ガ」を特定するためのガイドブック。岐阜市エダマメ産地から、害虫の発生が甚しく、食害する若葉は食害の被害に悩まされてきた。この被害を減らすため、岐阜市エダマメ産地から「環境保全型農業」を確立し、難防除害虫ハスモンヨトウを「手づくりフェロモントラップ」で防除している。



図2 現在は市販の丸形フェロモントラップを利用(8-9月の2か月)、フェロディンSLは2か月で効果がなくなると言われていたが、ビニールにくるんで冷蔵庫に入れておけば翌年も利用できることが分かった。毎日新しい剤を入れるがいままで使っていた剤も加えて利用している。累計5-6割入れている農家もいるようだ。

従来の防除適期、薬剤の選択の誤りを発見

天敵も殺していた。無効な農薬散布。診断ができた。次期防除対策として、診断編を読み進めよう。天敵も殺していた。無効な農薬散布。診断ができた。次期防除対策として、診断編を読み進めよう。

農文協の病害虫防除データベースが座右の書に

市原さんは普及員になってから、この産地の担い手もこれから大いに活用していかなくてはならない。農文協の病害虫防除データベースが、先達も使っていた。資料編も、いろいろ論文が読めるようになった。資料編も、いろいろ論文が読めるようになった。

環境保全型防除へ

天敵を活かす。環境保全型防除へ。天敵を活かす。環境保全型防除へ。天敵を活かす。環境保全型防除へ。

土壌診断の活用で病害虫が減る

「農業総覧・農業技術大系」を活用した土壌診断。土壌診断の活用で病害虫が減る。土壌診断の活用で病害虫が減る。

一名一台のパン

「パン」で病害虫防除。一名一台のパン。パンで病害虫防除。一名一台のパン。

次々と発生してくる正体不明の「ガ」

「診断編」ですぐさま害虫名を特定。次々と発生してくる正体不明の「ガ」。診断編ですぐさま害虫名を特定。

環境保全型防除シリーズ

自然と科学技術シリーズ。環境保全型防除シリーズ。自然と科学技術シリーズ。

これからの農業指導の方向

食の安全安心・地域への情報発信
愛知県JAあいち知多の取り組み

消費者や未経験農家だつて、一人前の生産者に育ててしまおう、そんな「野望」を胸に、電子や映像や印刷の情報を駆使しながら、挑戦を重ねているJAがある。それが、組合員四万七〇〇〇人の巨大JA・JAあいち知多(本部・愛知県常滑市)だ。

素人でも理解できる栽培講習会

を対象にした栽培講習会を開催した。集まったのはU・エーターンした若手や定去る九月一日、JAあ年退職者、あるいはイチジク栽培に興味を持つ組合員「一年樹」と「二年樹以上



作業ビデオクリップ。図は、整枝剪定の位置や切り方についての解説。ビデオで映示されるので判り易い。繰返し再生や静止表示なども手軽にできる。



「いちじく栽培」の講習会。講習ではまず、同JA管内の農業者が制作したビデオ「いちじく栽培ガイド」を上映し、栽培の全体イメージを説明。その後、畑づくりや定植など今後直面する月ごとの作業や、施肥・病害虫対策に関する解説にはパソコンを使った。このとき活用したのがデジタル版「いちじく栽培ガイド」(「一年樹」と「二年樹以上

「いちじく栽培」の講習会。講習ではまず、同JA管内の農業者が制作したビデオ「いちじく栽培ガイド」を上映し、栽培の全体イメージを説明。その後、畑づくりや定植など今後直面する月ごとの作業や、施肥・病害虫対策に関する解説にはパソコンを使った。このとき活用したのがデジタル版「いちじく栽培ガイド」(「一年樹」と「二年樹以上

講習ではまず、同JA管内の農業者が制作したビデオ「いちじく栽培ガイド」を上映し、栽培の全体イメージを説明。その後、畑づくりや定植など今後直面する月ごとの作業や、施肥・病害虫対策に関する解説にはパソコンを使った。このとき活用したのがデジタル版「いちじく栽培ガイド」(「一年樹」と「二年樹以上

講習ではまず、同JA管内の農業者が制作したビデオ「いちじく栽培ガイド」を上映し、栽培の全体イメージを説明。その後、畑づくりや定植など今後直面する月ごとの作業や、施肥・病害虫対策に関する解説にはパソコンを使った。このとき活用したのがデジタル版「いちじく栽培ガイド」(「一年樹」と「二年樹以上

市民に向けたテレビチャンネルを持つ

知多エリアは難視聴地域が多い。そういう地域環境の中、JAではケーブルテレビ局開設(経営は第三セクター方式)に取り組む。現在四社の筆頭株主となっている。資本参加している残り二つのケーブルテレビ会社を合わせれば、直線距離四五キロにも及ぶ五市五町の広い管内が、高速回線網(光ケーブル)で結ばれていく。

多様な講習会を支える広報活動

JAあいち知多が、二世紀の「食」の学、の拠点として「あぐりカレッジ」を設立した。平成一三年三月、会議室、OA教室、和室、調理実習室や農業関連図書ライブラリーを持つ施設もさることながら、ここで開催される多様な定期講座が人気だ。野菜は、市民向けの「園芸栽培コース」(定員三〇名)とセミプロ養成をめ

「いちじく栽培」の講習会。講習ではまず、同JA管内の農業者が制作したビデオ「いちじく栽培ガイド」を上映し、栽培の全体イメージを説明。その後、畑づくりや定植など今後直面する月ごとの作業や、施肥・病害虫対策に関する解説にはパソコンを使った。このとき活用したのがデジタル版「いちじく栽培ガイド」(「一年樹」と「二年樹以上

講習ではまず、同JA管内の農業者が制作したビデオ「いちじく栽培ガイド」を上映し、栽培の全体イメージを説明。その後、畑づくりや定植など今後直面する月ごとの作業や、施肥・病害虫対策に関する解説にはパソコンを使った。このとき活用したのがデジタル版「いちじく栽培ガイド」(「一年樹」と「二年樹以上

講習ではまず、同JA管内の農業者が制作したビデオ「いちじく栽培ガイド」を上映し、栽培の全体イメージを説明。その後、畑づくりや定植など今後直面する月ごとの作業や、施肥・病害虫対策に関する解説にはパソコンを使った。このとき活用したのがデジタル版「いちじく栽培ガイド」(「一年樹」と「二年樹以上

農家・住民の「生産するエネルギー」

JAあいち知多は、情報というものにこだわり続けるJAである。常滑市にあるJA本部一階にある図書コーナー、あるいはあぐりカレッジの農業図書ライブラリーと、組合員が集まる場所には、必ず、農文協や家の光協会の農業・生活書が置かれ、組合員や住民に貸し出されている。そのありようを見るにつけ、「読書(=情報活用)」をする意欲を持つ組合員が、JA事業展開の原動力」との想いが込められていると思えてくるのである。

「いちじく栽培」の講習会。講習ではまず、同JA管内の農業者が制作したビデオ「いちじく栽培ガイド」を上映し、栽培の全体イメージを説明。その後、畑づくりや定植など今後直面する月ごとの作業や、施肥・病害虫対策に関する解説にはパソコンを使った。このとき活用したのがデジタル版「いちじく栽培ガイド」(「一年樹」と「二年樹以上

講習ではまず、同JA管内の農業者が制作したビデオ「いちじく栽培ガイド」を上映し、栽培の全体イメージを説明。その後、畑づくりや定植など今後直面する月ごとの作業や、施肥・病害虫対策に関する解説にはパソコンを使った。このとき活用したのがデジタル版「いちじく栽培ガイド」(「一年樹」と「二年樹以上

講習ではまず、同JA管内の農業者が制作したビデオ「いちじく栽培ガイド」を上映し、栽培の全体イメージを説明。その後、畑づくりや定植など今後直面する月ごとの作業や、施肥・病害虫対策に関する解説にはパソコンを使った。このとき活用したのがデジタル版「いちじく栽培ガイド」(「一年樹」と「二年樹以上

減農薬、体質強化で高品質

新しい土壌診断と施肥設計
武田健著 畜産堆肥で高品質持続的農業を実現 5つのキーになる数値による実践的な土壌診断法と施肥設計 良質堆肥のつくり方と利用法を公開
2100円

自然と科学技術シリーズ
光合成細菌で環境保全
小林達治著 土壌肥沃化、水質浄化、悪臭防除、有機物リサイクルに活躍する光合成細菌の生態から利用まで。
18500円

施肥改善シリーズ
土壌診断を中心とする施肥改善を理論と現場で立てるための知識と実践を解説。生理障害、病害などの背景となる「土の富栄養化」。土壌溶液、pH、CEC、塩基飽和度、バランスなど、高度で複雑な概念を総合的にわかりやすく解説【全5巻】 生理障害と施肥 土壌診断と施肥設計 施肥改善の実際
揃い52500円

減農薬、体質強化で高品質
新しい土壌診断と施肥設計
自然と科学技術シリーズ
施肥改善シリーズ

編集ニュース

目まぐるしく変化する情勢に
シャープに伝える 追録づくり
『花卉病害虫診断防除編』追録第1号編集奮闘記

農文協 農業総覧編集室

『農業総覧 花卉病害虫 全入らない』といった悩
みを感じてきたが、企画・
編集の過程でも、それを痛
感させられた。著者の方
が完成したものは一九九
九年二月、いよいよ追録
をお送りすることになっ
た。かねてから花卉生産者
や樹木医の方など緑化関
係者の方から、「登録農
薬がない」「農業の情報
が話をお聞きいただきたい
。この追録5号を迎える
まで、この『花卉病害虫
』は、数年からのガーデニ
ングブームで新しい植物が
膨大に導入されており、そ
れらの新品目を次々と加え
てきた。この『花卉病害
虫』は、農業技術大系「農
業総覧」の企画のため
に、すでに豊明花卉市場
の流通実績のデータ

企画の段階：花卉緑化の
新たな情勢に伝えたい

「花水・庭木・緑化樹」の
部分では途方もない手間暇
がかかることになってしま
った。公園などの子どもた
ちが直接触れる機会が多い
場所にある植物であり、た
るだけ防除を少なくした
が、この時点でよく分り
少く不安になった。
以上は草花の部分だが、
「花水・庭木・緑化樹」の
部分では途方もない手間暇
がかかることになってしま
った。公園などの子どもた
ちが直接触れる機会が多い
場所にある植物であり、た
るだけ防除を少なくした

「農業技術大系」農業総覧
加除(さしかえ)式書籍とは



加除(さしかえ)式書籍
は、通常の書籍とは異なり
、ファイルのような形で、も
綴じ・製本されておりま
す。
日進月歩の農業技術な
ど、試験研究機関と指導
現場を結んで編集した情報
を差し替えば、常に最新
内容の百科に更新してい
くことができます。
したがって、いつまでも
生きた農業百科として、こ
れを利用いただくことがで
ます。
【利用者の声】G農業大学
校様 入学する学生は普
通高校卒業生が多い。農高
卒業生でもそのだが、「現
場」を知らない。農文協の
「農業技術大系」は、「現場」
を踏まえた編集内容だから

いつも最新の
情報を
経済的に

学生には指定して使わせて
いる。
雑誌「現代農業」をはじめ
、地域と農業の動きをい
ち早くキャッチし、各編の
技術・経営課題を先取りし
たテーマを編集した「追録」
(有料)を発行しています。
この追録は、変更のあつ
たページのみをさしかえ用
として編集し、発行するも
ので、最新版をどこよりも
早く能率的に定期購読の皆
様にお届けしています。

台本のお届け
と加除(さしかえ)

当会では、農業動向・経
営・栽培技術の最新情報な
どを「迅速に」そして「確
実に」購読者へお届けする
ため、書店への委託販売で
なく、営業普及職員によ
りお届けしています。
追録代金は、さしかえペ
ージ分のみです。経済的
です(年によって変更も
ありますが、現在年六〇〇
〇円です)。

企画の完成から執筆依頼へ

こうして企画が固まり、
内部の企画会議にかけた。
ヒベリカム、クリスマス
ローズなどの新品目。アザ
ミウマ類が媒介する各産地
で問題になっている各種の
ウイルス病を一律に収録す
ることにした。キク、トル
コギキョウなどはそれら
を媒介する難害虫も改訂し
て生態や防除法の内容を充
実させたいと考えた。発行
時期が迫ってきたころ、ご
執筆をお願いした著

編集

「無登録農業問題」の渦中で

「利用者の声」・T農協
農指導部様 新しく入っ
てきた若い職員に「さしか
え」をさせている。差替え
ることを通じて、「農業技
術大系」に触れざるを得な
い。どこに何が記載されて
いるか、「読む」ことで、
問題意識を持ち、組合
員からの問合せに利用した
りという情報活用が出来る
ようになると思ひ、そうし
て、お客様自身による加除
は、追録にしている利用
の手引きの全体の情報と
「最新の追録農業情報」を
把握できる利点がありま
す。
当会では、農業動向・経
営・栽培技術の最新情報な
どを「迅速に」そして「確
実に」購読者へお届けする
ため、書店への委託販売で
なく、営業普及職員によ
りお届けしています。

お知らせ
メール版
農文協通信発行

農業技術大系、農業総
覧、同CD-ROM、ル
ール電子図書館など
利用の方へ、農業技術大
系や農業雑誌、農業専門
書の出版情報などを、い
ち早くメールでお届けし
ます。ご希望の方は、メ
ールアドレスとお名前
(勤務先名)をお知らせ
ください。発行都度、無
料で送信いたします。内
容としては、農業技術大
系編集室での最新情報や
編集者ならではの情報
【利用者の声】や通販書店
「田舎の本屋さん」の出
版情報などをコンパクト
に編集します。
送信先
shop@mail.ruralnet.or.jp

米ヌカを使いこなす

農文協編 田畑にまくだけで驚
きの除草・肥料効果。ボカシ肥
秋・春施用。緑肥。半不耕起栽培
で土着菌を強化すればさらに効果
的。安定的で省力的な施用法。時
期・量など、田畑での米ヌカ活用
のすべて。
1700円

土着微生物を活かす

趙漢廷著 山・竹林・稲などにすむ微生物を採取して作
った発酵肥料。漢方栄養剤、酵素等を栽培・飼育に活用
1630円

発酵肥料のつくり方・使い方

薄上秀男著 製造法・効果的使い方、効果発現のしくみ、
発酵菌の自家採取法について、科学的に緻密に解説。
1630円

木酢・炭で減農薬

岸本定吉監修 農文協編 土づくり、防除、消費などそ
の効果。品質の判断法、市販品の使い方、作り方まで。
1430円

竹炭・竹酢液のつくり方と使い方

岸本定吉監修 池嶋龍元著 木炭・木酢液にはない、不思議
な力。放任管理の竹林も資源に変わる。1800円
土壌微生物の基礎知識
西尾道徳著 土壌微生物の生態から連作障害、土壌管理
との関わりまで。微生物の世界を知る格好のテキスト。
1680円

図解 土壌の基礎知識

前田正男・松尾嘉郎著 自然循環を基本に、複雑な土の
世界を図解。地力を高めるための基礎。1330円
土と微生物と肥料のはたらき
山根一郎著 土の性質と働き、微生物、肥料の性質と使
い方。水田・畑土の管理などを一般向けにガイド。
1680円

ボカシ肥づくり

「自然を活かす農法シリーズ」
育苗器を使った種菌ボカシの
量産で稲作にもたっぷり使用。
野菜も稲も無農薬栽培で極上品
質。
30分 6300円

水田の

米ヌカ除草法
「自然を活かす農法シリーズ」
田んぼに流し込むだけで驚き
の効果。その除草と肥料効果を
実践例から示し、上手なやり方
を紹介。
45分 10500円

農文協

【農文協ブックガイド】土づくりで



信頼のデータベース

加除式・農業百科事典 農業総覧・農業技術大系

巻構成
全7巻 A5判 87500円
美しい花卉・花木・緑化樹を育て、長持ちさせるための的確な診断法と正しい防除法が豊富なカラー写真と図解です。つづかめる223品目、1200病害虫を網羅した最高・最大の百科事典

草花(1,2年草・宿根草)
草花(1,2年草・宿根草)
草花(1,2年草・宿根草)
シクラメン/球根類

ラン/観葉植物/多肉植物・サボテン/シバ
花木・庭木・緑化樹
花木・庭木・緑化樹

花卉病害虫 診断防除編

草花から緑化樹まで、最高・最大のスケール

巻構成
全11巻 A5判 115500円
田畑、作物、土着天敵の地域自然の防除力を総合的に活かす、農業・労力を減らす新防除体系、小力防除、確立に向けて、環境保全型総合防除の百科

普通作物(イネ・ムギ・マメ)
野菜(果菜)
野菜(葉菜、マメ)
野菜(根菜類、イモ)
果樹(カンキツ、リンゴ)
果樹(ブドウ、モモ、ナシ)

果樹(カキ、クリ、その他)
花卉・花木
特産・特産・飼料作物、雑草
防除資材便覧
土着天敵・天敵資材

病害虫 防除・資材編

農業利用も含む「総合防除」の類のない大百科

巻構成
全9巻・11分冊 A5判 137500円
誤診は被害拡大、無駄な散布のもと。総計5000枚のカラー写真でスバリ診断、早期発見・適期防除の百科。わが国の病害虫を網羅、新病害虫も毎年の追録でフォロー。

普通作物
果菜(ナス科他)
果菜(ウリ科・イチゴ)
(2分冊)葉茎菜
根菜・イモ・マメ

ミカン・リンゴ
ブドウ・ナシ・モモ
カキ・クリ他
特産作物・桑・飼料作物
花・雑草

病害虫 診断防除編

カラー写真での確診断、迅速防除で減農薬

巻構成
全12巻 B5判 150000円
ガーデニングの流行、景観形成、都市緑化、園芸療法を背景に多様化する花卉需要。その構造的変化に即する生産技術と経営・販売の百科

生長・開花とその調節
土・施肥・水管理
環境要素とその制御
経営戦略/品質/緑化
育種/苗生産/バイテク
活用/花壇苗の生産
キク(クリサンセマム)
カーネーション(ダイアンサス)/バラ

1,2年草(100種)
宿根草(90種)
シクラメン/球根類(80種)
花木/観葉植物(150種)
ラン/サボテン/多肉植物

花卉編

多様化する品目を一挙掲載、花壇苗も充実

巻構成
全12巻・13分冊 B5判 162500円
流通・販売とともに多様化する栽培、個別化する作型に対応できる細やかな生育診断と手の打ち方。高品質・多品目・少量生産への流れを捉えた技術と経営の百科

キュウリ
トマト
イチゴ
メロン類・スイカ
ナス・ピーマン・シシトウ
ウ・カボチャ他
レタス・セルリー・ハナヤサイ他
キャベツ・ハクサイ・ツケナ類
ネギ・ニンニク・ラッ

キヨウニ・ニラ・ワケギ・他ネギ類
タマネギ・アスパラガス
ダイコン・ニンジン・カブ・ゴボウ
マメ類・イモ類・レンコン
特産野菜・地方品種
共通技術・先端技術

野菜編

減農薬・高品質、多品目化 新規就農者にも最適

巻構成
全8巻9分冊 B5判 112500円
転作を我が家の経営、地域農業に有利に進めるには? 増える荒廃水田をうまく使えないか? 時代の要請にこたえる田畑の多面的有効活用を軸にした栽培・経営・地域づくりの百科

土壌の働きと根圏環境
作物の栄養と生育
土壌の性質と活用
土壌診断・生育診断
(2分冊)土壌管理・土壌病害

(2分冊)施肥の原理と施肥技術
(2分冊)各種肥料・資材の特性と利用
実家の施肥と土づくり

土壌施肥編

高品質生産と環境保全を両立する

電子検索で有効活用

農業技術大系 総合索引CD-ROM

何十冊もある百科事典の中から自分に必要な情報、意外な役立つ情報をすばやく見つけ出すパソコンソフト
最新の試験研究成果とトップ農家の技術を結集した最高水準の農業百科事典、農業技術大系、全6編・全63冊のどの巻にも記事があるかを迅速に探し出すCD-ROMフリーワードでの全文検索から簡単なマウス操作だけのガイド検索まで多彩な機能 3000円

畜産編

低コスト飼養技術と地域型・循環型畜産の提案

巻構成
全8巻9分冊 B5判 112500円
廃棄物として処理に困っていた家畜糞尿が肥料に、食品製造残渣が飼料になり、家畜を飼育することが環境を守る、こうした地域型畜産の確立に向けて最新の知見を集大成

畜産基本編・馬(2分冊)乳牛
肉牛
豚
採卵鶏/ブロイラー

中小家畜(ヤギ・メンドウ・ウサギ他)
飼料作物
環境対策

果樹編

小力樹形、摘心栽培で生産現役 特産果樹も充実

巻構成
全8巻9分冊 B5判 112500円
我が家の経営をどう組み立ててゆくか、トップ農家の技術・経営と最新の試験研究成果を網羅した大百科

カンキツ
リンゴ
ブドウ
ナシ・西洋ナシ
カキ・オウトウ・ピラ
クリ・イチジク・クル

ミ・キウイ
モモ・ウメ・スモモ・アズキ
特産果樹
共通技術編

作物編

転作物の品質向上技術と水田の多面的活用

現在刊行中 地域資源活用

食品加工総覧 全12巻

地域の農産物を活かした食品加工を強力に後押し。各専門家、コンサルタント、優良企業がそのノウハウを惜しげもなく公開した初めての食品起業完全マニュアル

現在刊行中・既刊9冊、B5判、各600~700頁、カラー口絵付き
150000円(加除式・直販商品につき分売不可)

CD-ROM版

病害虫・雑草の診断と防除

「病害虫診断防除編」同・資材編 全22冊
約12000頁、データ件数約30000、130作物、病害虫1600種、土着天敵158種、天敵資材29種、雑草140種、カラー診断画像約6500点収録 180000円

花卉病害虫の診断と防除

草花から花木・庭木・緑化樹まで225品目1200病害虫を網羅した「花卉病害虫診断防除編」全7巻をデータベース化した的確な診断法と正しい防除法、農業の選び方が迅速にわかる。 700000円

編別CD-ROM

作物編	112500円
野菜編	162500円
果樹編	112500円
畜産編	112500円
花卉編	150000円
土壌施肥編	137500円

農業技術大系
「農業技術大系」全6編(土肥、作物、野菜、果樹、花卉、畜産)全63冊
約48000頁、記事件数約96000、図表写真データ約80000件を収録、最新の試験研究成果と農家の技術をつなぐ。 200000円